



みんなの気持ちに寄り添う場所に

今年で4回目となる「石狩市カローリング交流大会」は、田岡市長から「市内の障がい団体が集まって、何か一緒にできることはないか」と声をかけてもらったことがきっかけで始まりました。

そのころ、石狩市ではカローリングの全道大会が行われており、「大地の会」も参加していました。そこで、これなら誰でもできるねということになり、カローリングで、市内の障がい団体が交流できる場を作ろうと話がまとまりました。

カローリングは、チームプレーなのがとてもいいですね。仲間意識が

芽生えていくのがよく分かります。個人では、あれほど盛り上がりがない。チームだからこそ失敗したらお互いに慰め合ったり、「やったー」と声を出して喜び合ったり。だから大会が終わると、みんな名残惜しそうに帰ってきますよ。それを見ていると、本当にいい大会だなあと感じます。1日みんなと同じ空間で過ごして、まるでパッと花が開いたような大会というんでしょうか。そして「また来年ね」と言われて別れる。そんな後味のいい大会ですから、私も元気なうちはずっとお手伝いしていきたいと思うんです。



大会が生まれたきっかけ

これからいろいろな団体の皆さんと楽しみたいですね。もっと参加者が増えるといいなと思います。

司会は練習しましたが緊張しました。カローリングはとっても楽しいです。

3位になり賞状をもらえるなんて信じられない！うれしかったです。



大矢 和子さん 福江 彰さん 高橋 広也さん

石狩大地の会

「このまちでいつまでも暮らしたい」と願い、障がいを持ちながらもまちづくりに参加し、石狩市カローリング交流大会など、地域の方々と交流を深める当事者団体。現在37人が所属し、2016年には石狩市市制施行20周年記念表彰を受賞しました。

開会式で
司会を務める
大矢さん▶



福江さん

◀石狩大地の会の会長である福江 彰さん。写真は大会前の関係者会議の様子

視覚障がいの方も楽しめるカローリング

カローリングは、誰もが取り組めるスポーツ。ポイントゾーンの中心部をLEDの光で知らせたり、ホワイトボードでポイントゾーンの状況を指で触って把握してもらうなど工夫

次第で視覚に障がいがある方も楽しむことができます。視覚障がい者団体「瞳会」は一昨年の第2回大会から参加し、好成績をあげています（今回は日程が合わず不参加）。



大会では参加者に豚汁を提供。用意したのは育成会の皆さんでした



石狩市手をつなぐ育成会

障がい者(児)の保護者会として、障がい者(児)の権利擁護と、社会自立促進のための地域生活支援活動や日常生活支援活動などに関する事業を行い、福祉増進に寄与することを目的に結成。なお、現在の名称になったのは2004年から。



みんなが楽しめる大会に
 このカローリング交流大会のように、まちの障がい団体が一堂に会する機会は、残念ながらそうそうありません。全道、全国でも珍しいと聞きました。

実をいうと私自身、初めは大会の意義をあまり感じていませんでした。それが前回くらいから、ほかの団体の方ともだんだん顔見知りになってきて、今では本当にこういうつながりを持てたことをうれしく、誇りに感じています。息子も、大会で一緒になった方から、病院やラーメン店など思わぬところで声を掛けられることもあり、とても喜んでいきます。

私としては、こういう交流の場があることを、まずは多くの市民の方に知ってもらえたらと思います。そして機会があればぜひ、大会の様子を見てもらえたらうれしいですね。以前、花川南コミセンで開催したときには、2階のギャラリーから観覧されている市民の方がいらして、そんな風に見守ってもらえれば、親としても安心です、本当にうれしいです。

母が語る、大会への思い

語り▼石狩市手をつなぐ育成会 副会長 福江ひろみさん

フレンドシップFCでサッカーしよう！



石狩大地の会のメンバーによるサッカーチームです。現在、メンバーは9人。ぜひ、仲間に加わりませんか？

また、活動をサポートしてくれるサッカー好きなヘルパーさんも大募集です。

☎ 毎週土曜

16時30分～18時30分

所 B&G海洋センター(花畔337・4)

¥ 月500円

☎ 福江さん ☎090・1380・1546